

マテリアリティ

当社の強みを生かしつつ、社外とも積極的に連携し、マテリアリティの解決に取り組んでいきます。

当社は、SDGs・ESGの視点を経営の中核に位置付ける方針の下、海外事業の拡大に伴い、当社にとってのマテリアリティ(重要課題)の見直しを実施しました。

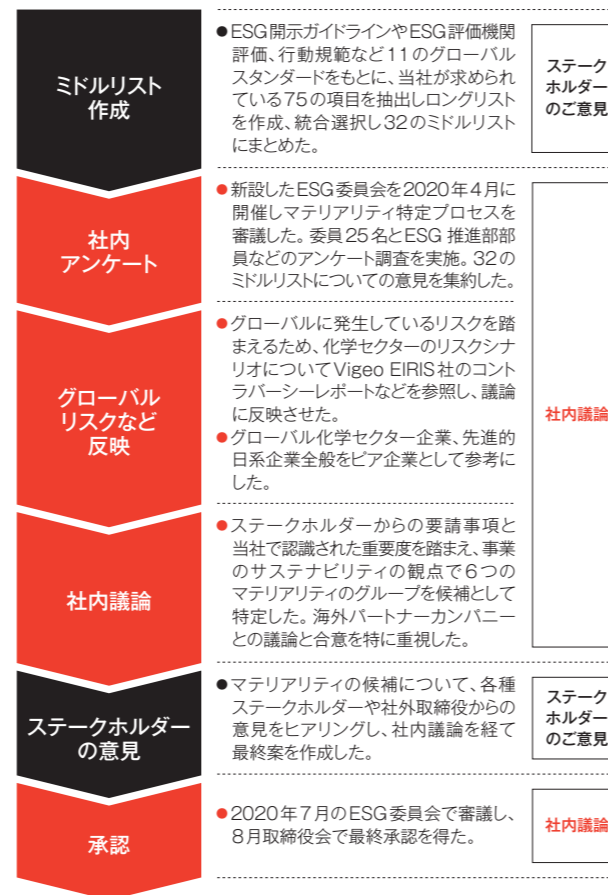
マテリアリティと特定プロセス

マテリアリティの特定においては、社会が求める重要課題をGRIやSASBなど国際的なESGガイドラインやESG調査機関の要求項目を参考にリストアップし、それらを「ステークホルダーにとっての重要度」と「事業にとっての重要度」という2つの側面から定量評価し、重要度を検証しました。

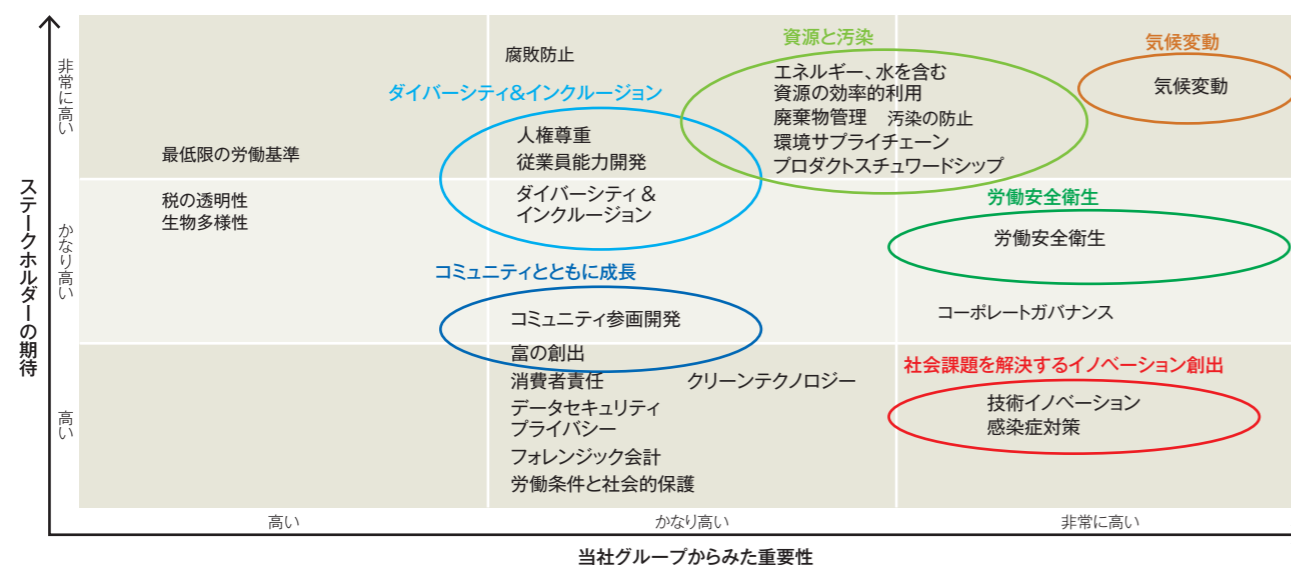
また、外部の有識者との対話により客観的な視点も取り入れた上で、国内および海外のパートナー会社と議論し、当社の事業モデルや事業環境に即して重要課題を抽出しました。その後、経営陣を中心に検討を進め、マテリアリティを特定しました。

これらのマテリアリティについて、当社グループの強みを生かしつつ、社外とも積極的に連携し、社会課題の解決に取り組んでいきます。また2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献していきます。なお、特定した各マテリアリティについては、今後KPIを設定し、その進捗を取締役会で管理監督していきます。

マテリアリティ特定のプロセス



マテリアリティ特定マップ



マテリアリティの説明と関連するSDGs

マテリアリティ	関連するSDGs
気候変動	7 (エネルギー), 9 (産業と資源効率), 13 (気候変動)
資源と汚染	3 (健康と福祉), 6 (安全な水とトイレ), 11 (住み続けられるまちづくり), 12 (つくる責任/つかう責任), 14 (海の豊かさ)
ダイバーシティ & インクルージョン	4 (質の高い教育をみんなに), 5 (ジェンダー平等を實現しよう), 8 (働きがいも経済成長も), 10 (人や国の不平等をなくそう)
労働安全衛生	3 (健康と福祉), 4 (質の高い教育をみんなに), 8 (働きがいも経済成長も)
コミュニティとともに成長	1 (貧困をなくそう), 4 (質の高い教育をみんなに), 5 (ジェンダー平等を實現しよう), 8 (働きがいも経済成長も), 9 (産業と資源効率を高めよう)
社会課題を解決するイノベーション創出	3 (健康と福祉), 9 (産業と資源効率を高めよう), 11 (住み続けられるまちづくり), 17 (目標を達成しよう)

マテリアリティの説明

気候変動は年々我々の生活に深刻な影響を及ぼし始めています。当社グループは気候変動影響緩和のために温室効果ガス(GHG)の排出量を抑制し、かつ気候変動の進行がもたらす事業リスクを最小化する取り組みを行います。

水やエネルギー、原料などの資源を有効活用し、環境汚染を防止することは、持続的な事業の推進にとって重要事項です。当社グループはライフサイクルを通じてこれらの取り組みを進めています。

私たちを取り巻く人々を尊重し、多様な価値観を積極的に受け入れることは私たちの持続的な成長のために重要です。当社グループは、従業員をはじめ事業に関わる人々の多様性を重視し、人権を尊重します。

化学物質を取り扱うことによる災害や健康被害は依然として化学メーカーとしては大きなリスクと考えています。従業員をはじめ事業に関わるすべての人々の安全を確保しリスク最小化のための投資や教育などに取り組みます。

バリューチェーンを通じたコミュニティへの投資を行い、市場の拡大、ブランドの強化、地域コミュニティとの良好な関係を基盤とした事業の持続的な成長を実現します。

今日の社会においては、過去の手法によっては解決が困難な課題が次々と顕在化しています。積極的にパートナーシップを活用しイノベーション創出力を強化します。